

2013 10月のビオトープ ～ビオトープコンテスト!～

2011年。本校のビオトープが再生できた年、全国ビオトープコンテストに応募しました。このコンテストは、子どもたちのもっとも身近な自然体験の場である学校・園庭のビオトープの効果的な活用を、より広く普及することを目的に開催されるものです。2013年は、開催年となり、成長した池の姿を評価していただきたく応募しました。

一次の書類審査を無事通過し、10月23日（水）に第二次審査の現地審査がおこなわれました。日本女子大学人間社会学部教授の田中雅文先生、日本生態系協会の加藤千春さんが審査委員として来校され、本校のビオトープを見ていただきました。



現地審査が、10時からということで、ビオトープを見ていただくだけでなく、6年生による活動報告もおこなわれました。

子どもたちが、ビオトープで生き生き活動していること、環境について色々調べた上で、自分たちで考えてビオトープの環境を維持していることを評価していただきました。

ビオトープの中の植栽は充実しても、池の周囲はまだまだ土がむき出していること、生きものが自然と入ってこられる条件整備が必要なことをアドバイスいただきました。これらは、今後の課題として、これからの活動の参考にしていきたいと思います。

<追伸>

審査員の加藤千春さんは、何と清水小学校の卒業生でした。自然を大事に思い、自然を守る仕事をしていただいている先輩がいることを心強く思いました。

